

MITSUBISHI

三菱 **自然冷媒** CO₂ヒートポンプ給湯機

季節別時間帯別電灯・時間帯別電灯(通電制御型)

取扱説明書

環境と家計を大切にする
三菱エコキュート

システム形名

システム形名チェック欄■に、お買い上げの給湯機をチェックしてください。
(修理等のお問合わせの際にご利用ください。)

一般地向け

- エスアールケー エイチピー エヌ
- SRT-HP37N5
 - SRT-HP46N5
 - SRT-HP55N5

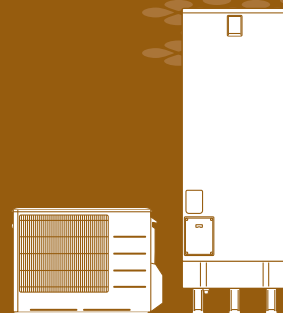
寒冷地向け

- エスアールケー エイチピーケー エヌ デー
- SRT-HPK37ND5
 - SRT-HPK46ND5

※耐塩害仕様タイプはシステム形名の末尾に「-BS」が付きます。

このたびは、三菱エコキュートをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず読み、大切に保管してください。
- お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。
- 「保証書」「据付工事説明書」は、必ず所定の記載事項を確かめて、据付工事店(販売店)からお受け取りください。給湯機を他に売ったり譲渡されるときなどには、次の所有者の方へ渡してください。



ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

環境のコト、家族のコト。 みんなの笑顔いっぱいの三菱エコキュート。

省エネ

大気中の熱を利用し
お湯をつくります
23ページ

安心

火を使わないので
空気を汚さず
イヤなニオイもありません

快適

お湯の使用量を学習し
最適な湯量を自動で
わかします
11ページ

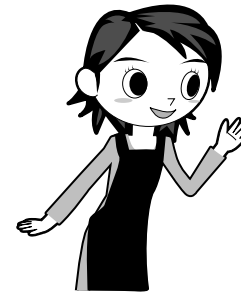
エコキュートのしくみ



知っておいていただきたいこと

- 昼間にもわき上げすることがあります
- 水は体積膨張するため、わき上げ中に排水口から水が排出されることがあります
- わき上げ中はヒートポンプユニットから運転音がします、また少量のドレン水が出ます
- お湯の温度・残湯量は周囲環境によって変動します
- お湯の使用量が少ないときは、お湯のムダを防ぐため、満タンまでわき上げないことがあります

準備



- **ご使用前に必ずお読みください**
 - 4…安全上のご注意
 - 6…ご使用にあたってのお願い
 - 7…各部のはたらき

● リモコンの表示を確認してください

点灯している場合は…そのままご使用ください
消灯している場合は…「使いはじめ(準備) P25」をご覧ください

もくじ

使いかた

- 10 給湯温度設定
- 15 お湯をチェックする
 - 14…残湯量表示
 - 15…ECOチェック
 - 15…お湯チェック

便利な機能

- 10…時計合わせ
- 11…音声ガイダンス
- 11…わき上げモード
- 12…わき上げ休止
- 12…わき上げ停止日数
- 13…満タンわき増し

スマート機能

- 16…タンク内温度
- 16…給湯使用量
- 17…湯切れ報知音
- 17…自動消灯時間
- 18…バックライトモード
- 18…使用湯量モード
- 19…電力契約モード

こんなとき

- 20 お手入れと点検
 - 21…定期点検(有料)
 - 22…凍結防止
 - 22…非常時の取水方法
 - 23…機器の役割など
 - 24…長期間使用しない
 - 25…使いはじめ(準備)
 - 26…仕様

故障かな

- 27…故障かな?と思ったら
- 30…リモコンにエラーが表示されたら
- 31…保証とアフターサービス

ご使用前に

使いかた

こんなとき

故障かな

安全に使用するために

⚠ 警告	🚫 前面カバーや工事用窓を開けない、給湯機やリモコンを分解・改造しない (漏電や感電・火災の原因)	🚫 ヒートポンプユニットの蒸発器のフィンや空気吹出口に手や棒を入れない (けがの原因)
	🚫 近くにガス類や引火物を置かない (ガスボンベからは2m以上離す。) (火災の原因)	⚠ 異常(こげ臭いなど)時は、漏電遮断器の電源レバーを下げて電源を「切」にし、お買い上げの販売店または「修理窓口 P37」へ連絡する(火災・感電・やけどの原因)
	⚠ 注意	
⚠ 注意	🚫 そのまま飲用しない 長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化で水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記に注意し一度ヤカンなどで沸騰させてください。 ●水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用する。 ●熱いお湯が出てくるまでの配管にたまっている水は、雑用水として使用する。 ●固形物や変色、濁り、異臭があった場合、飲用せずに直ちに、据付工事店(販売店)へ点検を依頼する。	
	🚫 機器に乗ったり、物に乗せたり、配管に力を加えたりしない (事故・やけどの原因)	

機器の点検・お手入れに関する注意

⚠ 警告	⚠ 漏電遮断器の動作を確認する (感電の原因)	
	⚠ 逃し弁を点検する(タンク、配管破損・水漏れの原因) 点検時は内部の配管に手を触れないでください。	
	🔌 アース工事を確認する(感電の原因) アースの取付けは、据付工事店(販売店)へお問い合わせください。	
⚠ 注意	🚫 ヒートポンプユニットの架台が傷んだ状態で使用しない (ヒートポンプユニットの落下、転倒によるけがの原因)	
	⚠ 凍結防止対策の確認をする (タンク、配管破損・水漏れの原因)	⚠ 操作窓・配管カバーは閉じる (漏電や感電の原因)
	⚠ 床面が防水・排水処理されているか据付工事店(販売店)へ確認する (水漏れによる損害の原因)	

長期間使用しないとき、使用を再開するとき

⚠ 警告	⚠ 長期間使用しないときは本書の手順にしたがい、機器と配管内の水を確実に抜く (凍結による機器破損の原因) 排水時はお湯に手を触れないでください。
⚠ 注意	⚠ 初めて使用するときや使用を再開するときは、本書の手順にしたがう

安全のために必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠ 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。	⚠ 注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつきます。
---------------------------------------	---

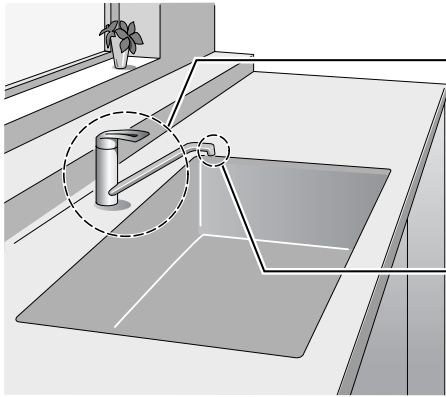




■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

🚫 禁止	🚫 接触禁止	🚫 分解禁止	⚠ 指示に従う	🔌 アース工事確認
------	--------	--------	---------	-----------

■機器に使われる図記号の意味は次のとおりです。

⚡ 感電注意	🔥 高温注意	🔥 発火注意	🔄 回転物注意
--------	--------	--------	---------

やけどを防ぐために!

⚠ 警告	 給湯時は湯水混合栓に手を触れない
	 使いはじめは、湯温を確認する 特に朝の使いはじめは、しばらくお湯に触れないでください。空気の混ざった湯が飛び散ることがあります。
	 入浴時やシャワー使用時は、必ず、指先などで湯温を確認する
 ヒートポンプ配管に手を触れない	
 給湯温度を変更するときは、他の蛇口の使用状況を確認する	

部品名は各部のはたらき(P7~P8)をご覧ください。

ご使用にあたってのお願い

お湯を上手に使う

- わき上げモードを「おまかせ」に設定すると、お湯を効率的にわかします。
- 貯湯式なので1日に使用できるお湯の量は限りがあります。シャワーや洗いものを流しっぱなしで使用すると、湯切れの原因になります。

リモコンの時刻を確認する

- リモコンの時刻がずれた場合は、時刻を合わせ直してください。
- 時刻がずれていると、電気料金は割高になります。

お湯の温度が低い

- 蛇口で使用するお湯は、配管の放熱によって、設定温度より低くなる場合があります。低いと感じた場合は、設定温度を上げてください。

機器周辺部の点検

- 積雪時は機器の周囲を除雪してください。(誤動作や故障の原因)
- ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げとなるものを置かないでください。(性能低下や故障の原因)

機器の設置状況などを確認する

以下の場所に設置されている場合は、事故や故障などの原因となりますので、据付工事店(販売店)へご連絡ください。

- 運転音や振動が気になる場所(隣家の迷惑になる場所)
- 一般地向け：最低気温がマイナス10℃以下となる場所
寒冷地向け：最低気温がマイナス25℃以下となる場所
- ヒートポンプユニットの屋内設置
- 水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
- 階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 冠水する可能性のある場所

停電したとき

- 停電したときでも「時刻」や「わき上げモード」などは記憶されています。ただし、時刻がずれることがありますので、必ず時刻を合わせ直してください。
- わき上げ中に停電した場合は、停電終了後にわき上げを行います。

浴槽等の点検

- 浴槽や洗面台はよく洗ってください。汚れが付きにくくなります。

必ず水道水をご使用ください

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。ただし、水質によっては、タンク・ヒートポンプユニット・減圧弁・逃し弁等の寿命が通常より短くなる場合があります。
- 特に温泉水・地下水・井戸水のご使用は機器をご使用いただく期間の水質が、常に水道法の定める水質基準内である担保が取れないため、使用しないでください。(水質に起因した不具合が発生した場合、無償保証できません。)

リモコンに水をかけない

- リモコンは防水タイプではありません。水をかけないでください。(故障の原因)

断水したとき(水が濁る)

- ① 断水したときや近くで水道工事が行われるときは、給水配管専用止水栓を閉じてください。(閉じると給湯機からのお湯が止まります。)閉じないでそのまま使用すると、濁った水で貯湯タンクユニットのストレーナー部分が目詰まりし、出湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
- ② 断水時は蛇口の混合栓を水側にして、蛇口は開けないでください。
- ③ 工事が終了したら、蛇口の水側を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、給水配管専用止水栓を開いて使用を再開してください。

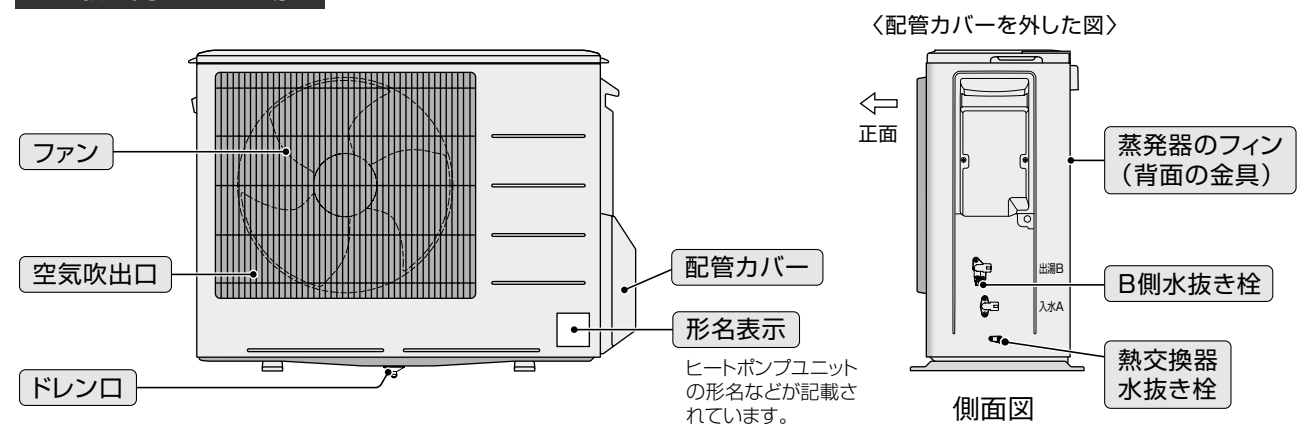
給湯を止めるとき

- 湯水混合栓のパッキンの交換などで、給湯機からの給湯を止めるときは、水道の元栓と給水配管専用止水栓を閉じてください。作業を行う場合は、一度、蛇口を開き、お湯が出なくなったことを確認してから行なってください。

各部のはたらき

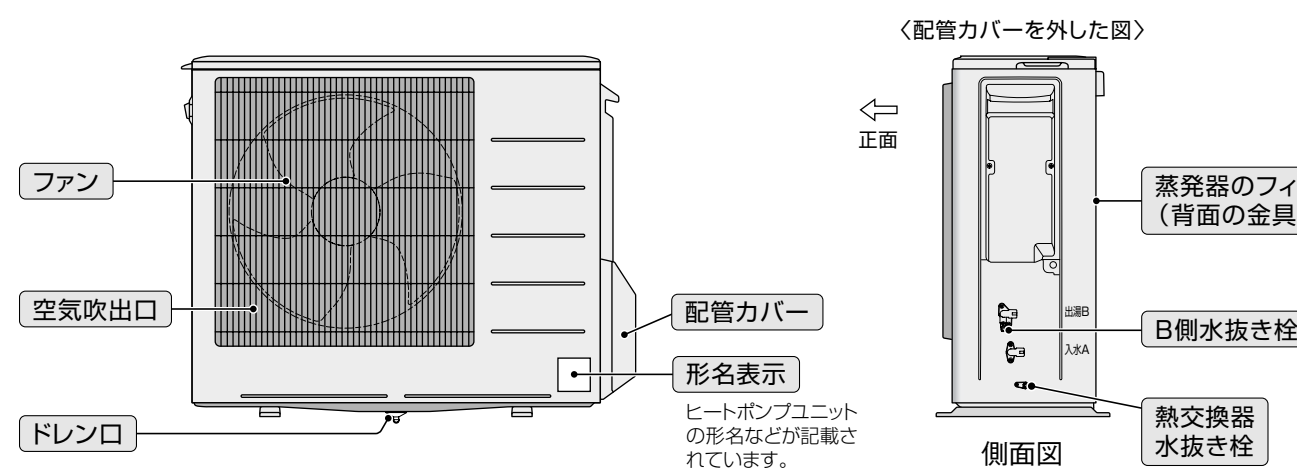
ヒートポンプユニット

〈一般地向け370L用〉



運転中はフィンに結露し、ドレン口から少量の水が出る(温度、湿度により変化します。)ことがあります。故障ではありません。

〈一般地向け460L、550L、寒冷地向け用〉



運転中はフィンに結露し、ドレン口から少量の水が出る(温度、湿度により変化します。)ことがあります。故障ではありません。

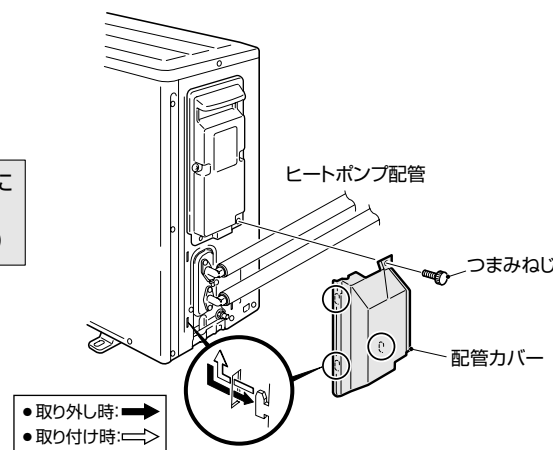
配管カバーの外しかた

- (1) つまみねじ(1本)を外す
- (2) 配管カバーを下方にずらしてツメを外し、手前に引く



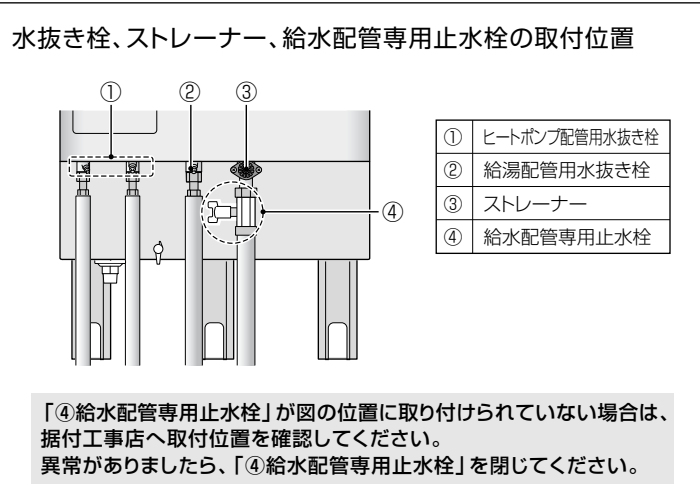
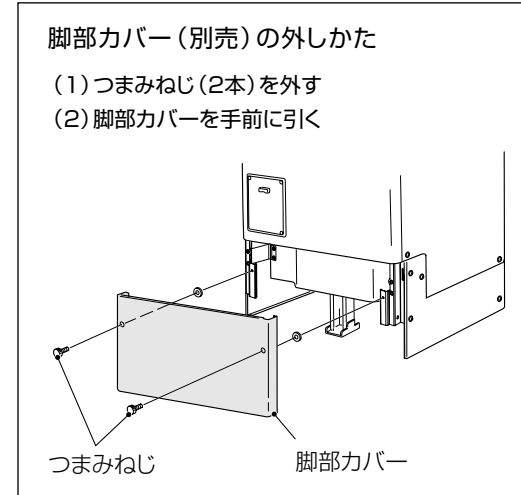
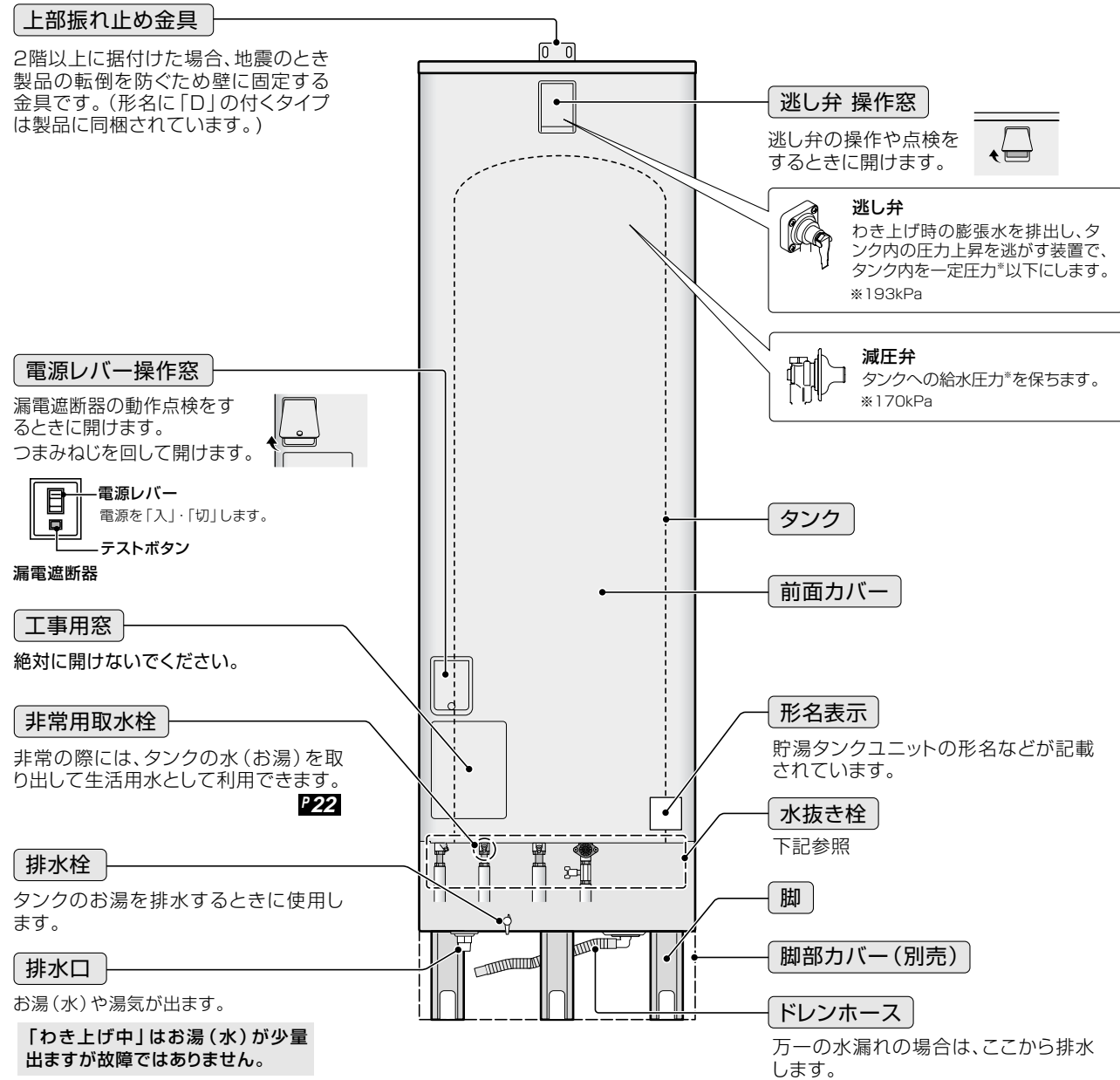
警告

- ヒートポンプ配管に手を触れない(やけどの原因)



- 取り外し時: →
- 取り付け時: ←

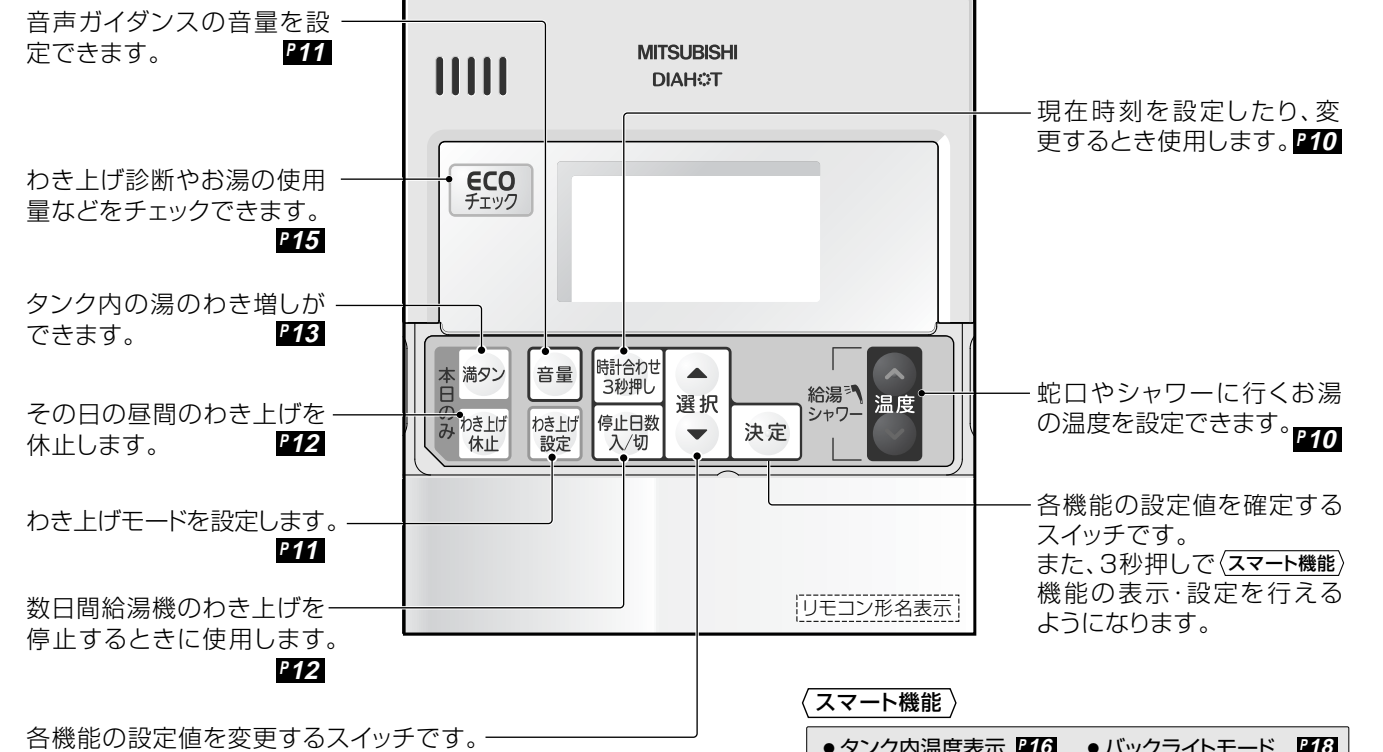
貯湯タンクユニット 機種によって部品の取付位置や形状が異なります。



リモコンのはたらき

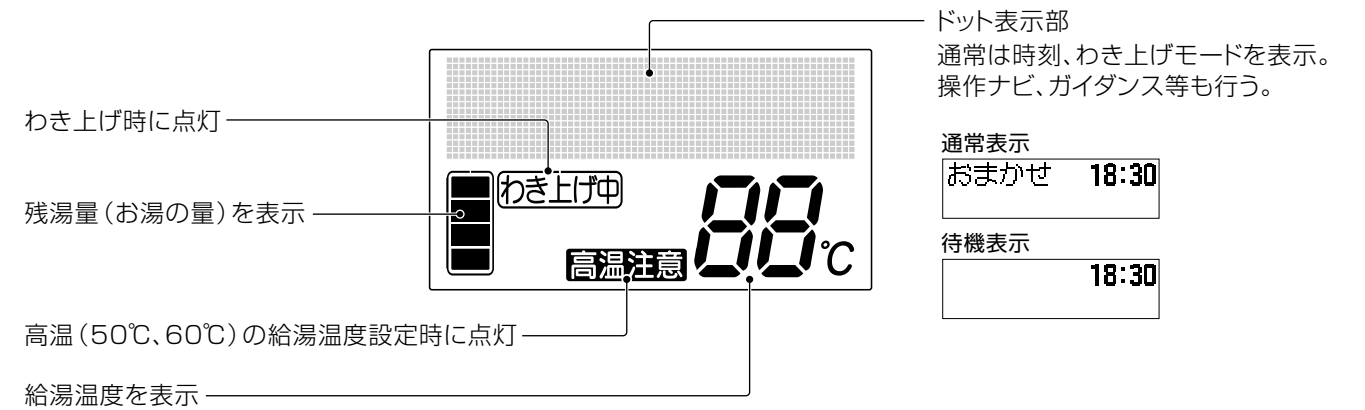
※リモコンのドット文字は株式会社リコー製ビットマップフォントを使用しています。

アールエムシー エヌ
形名:RMC-N5



リモコン表示部 (説明のため、画面は表示が点灯した状態にしてあります。)

画面はバックライト付きです。待機表示中は時計のみ表示します。



ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

給湯温度設定

給湯温度(蛇口・シャワーへ行くお湯の温度)を設定できます。

●設定範囲

35℃~48℃(1℃刻み)/50℃/60℃
工場出荷時は50℃



1

1 給湯温度スイッチで温度を設定する

給湯温度が50℃に設定されました

- ▲ …温度が上がる
- ▼ …温度が下がる

ポイント

- 給湯温度を50℃以上に設定した場合、リモコンに「高温注意」が表示されます。60℃に設定した場合はリモコンから警告音が鳴り、音声ガイダンスも流れます。
- サーモスタット付湯水混合栓の場合は、給湯温度設定を使用するお湯の温度より10℃以上高くしてください。また、シャワー出湯量が少ない場合は、給湯温度設定を60℃にし、水と混ぜてご使用ください。

ご使用の前に

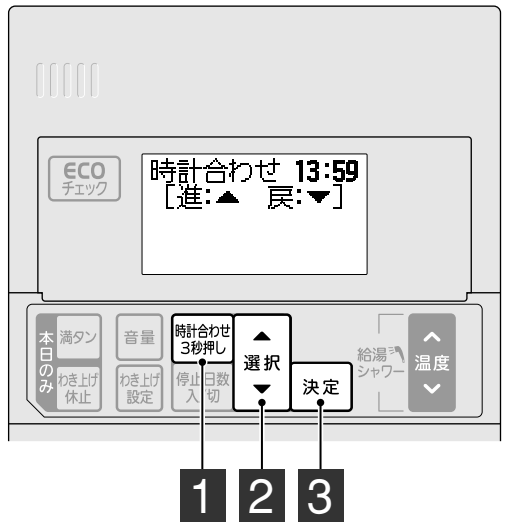
使いかた

こんなとき

故障かな

時計合わせ

リモコンの時刻を正確な時刻に合わせてください。



1 2 3

1 時計合わせ3秒押しを3秒以上押す

時計合わせ 13:59 [進:▲ 戻:▼]

- 時刻が点滅します。

2 選択スイッチで時刻を合わせる

時計合わせ 14:00 [進:▲ 戻:▼]

- ▲ …1分間進む
- ▼ …1分間戻る (押し続けると連続して変更)

3 決定を押す

時計が14:00に設定されました

ポイント

- 各スイッチ操作は約1分間以内に行なってください。
- 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12:00」、夜の12時の場合は「0:00」を表示します。
- 時計の時刻は停電などにより若干変動します。
- 表示部に「0:00」が点滅している場合は、わき上げできませんので、上記手順2からの操作を行なって時刻を合わせてください。

音声ガイダンス

リモコンの音声ガイダンスの音量を変えたり、切ることができます。

●設定範囲

消音/最小/標準/最大
工場出荷時は標準



1

1 音量を押す

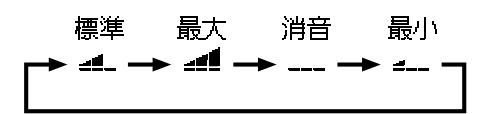
ガイダンス音量 【標準】

- 現在設定されている声の大きさをお知らせします。

2 音量確認(手順1)後、約6秒間以内に音量を押す

ガイダンス音量 【最大】

- 押すごとに、声の大きさをお知らせします。



ポイント

- 消音にしても、音量調節を知らせる音声やスイッチ操作音、警告音は消せません。

わき上げモード

給湯機のわき上げモードを決めるための設定です。

●設定範囲

わき上げモード	こんなときに
おまかせ	■おすすめ省エネモード 過去の使用湯量を学習し、最適なお湯の量を自動でわかします。
多め	■「おまかせ」ではお湯がたりないときに設定するモード 過去の使用湯量を学習し、「おまかせ」より多めにお湯をわかします。

※使用する分だけわき上げるモードもあります。(P18)

工場出荷時はおまかせ

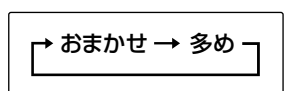


1

1 わき上げ設定を押す

おまかせに設定されました

- 押すごとにモードが移動します。



7~23時もわかすことがあります
※時間は電力契約モードによって異なります。

ポイント

- お湯が不足しないように、昼間時間帯でもわき上げを行います。ただし、いつもより多めにお湯を使用する場合、昼間わき上げをしてもお湯がたりなくなることがあります。その場合は満タンわき増しをご利用ください。(P13)
- 設置後2週間は、学習運転を行うため昼間のわき上げが多くなります。

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

わき上げ休止

当日のみ昼間のわき上げを停止することができます。当日もうお湯を使用しない場合に設定すると、昼間のわき上げを停止できます。残湯量表示 (P14) やお湯チェック (P15) を目安に、湯切れしないと思われる場合のみ設定することをおすすめします。



1 わき上げ休止を押す

わき上げ休止が設定されました

本日23時までわき上げしません

※時間は電力契約モードによって異なります。

■解除するとき：もう一度わき上げ休止スイッチを押す

- ポイント**
- わき上げ休止は、満タンわき増しや停止日数が設定されると、自動的に解除されます。
 - 夜間時間帯になると自動的に解除されます。
注. 夜間時間帯は地域や電力契約の内容によって異なります。
 - 夜間時間帯は操作できません。

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

満タンわき増し

お湯がたりなくならないように、減ってきたらそのつどお湯をわき上げる機能です。来客などでたくさんのお湯が必要なおきに設定してください。



1 満タンを押す

満タンわき増しが設定されました

- 「満タン」が表示されます。

お湯が減るたびにわき上げます

2 お湯を約100L (42℃換算) 使うと、わき増しを開始します。

- わき増し中は「わき上げ中」が表示されます。

■解除するとき：もう一度満タンわき増しスイッチを押す

- ポイント**
- 満タンわき増しは、一度設定すると、設定したその日は解除されるまで何回でもタンク全体のわき増しを行います。夜間時間帯になると自動的に解除されます。
注. 夜間時間帯は地域や電力契約の内容によって異なります。
 - わき上げ休止、停止日数が設定されると、自動的に解除されます。
 - 満タンわき増しは、時間帯にかかわらずタンク内をわき上げますので電気料金は割高になります。
 - 満タンわき増しスイッチを押すと、初回のみお湯を使わなくてもわき上げを開始します。

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

わき上げ停止日数

旅行などで数日間お湯を使用しないときに給湯機のわき上げを停止させ、電気代を節約できます。

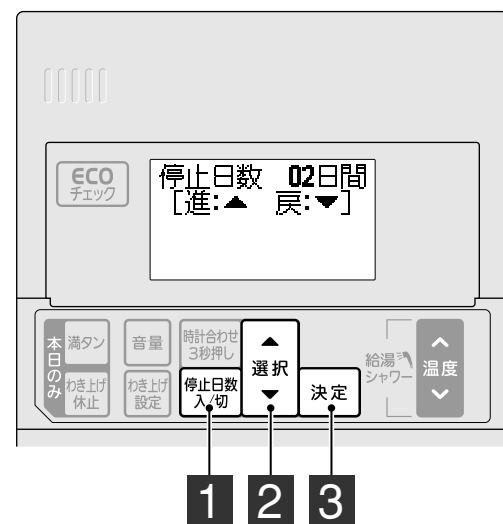
●わき上げ停止日数の決めかた

例) 10月2日に出発し、5日に帰宅する3泊4日の旅行の場合
帰宅日の朝からお湯を使用するための設定例

設定日	出発日(10月2日)	前日(10月1日) 注
設定日数	3日間 2日~4日の3日間停止	4日間 1日~4日の4日間停止

注. 前日に設定する場合は、出発日にお湯を使用できません。

- 設定範囲
- 2~15日 / 長期停止



1 停止日数入/切を押す

停止日数 02日間 [進:▲ 戻:▼]

交互表示

停止日数 02日間 [確定:決定]

2 選択スイッチで停止日数を設定する

- ▲...1日進む
- ▼...1日戻る
- (押し続けると連続して変更)

停止日数 03日間 [進:▲ 戻:▼]

3 決定を押す

停止日数03日間が設定されました

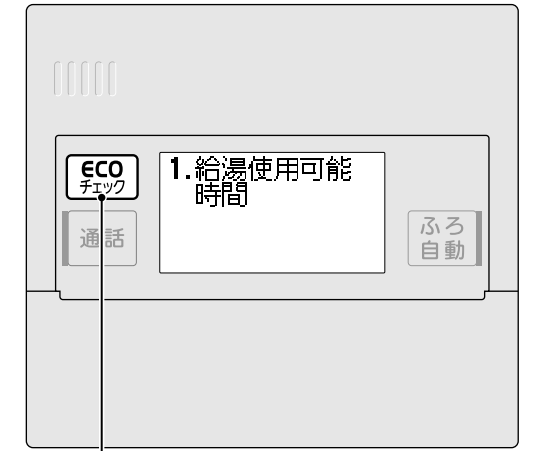
■解除するとき：もう一度停止日数スイッチを押す

- ポイント**
- 予定日より早く帰宅した場合は、停止日数を解除し、満タンわき増しをご使用ください。
 - 長期間 (1カ月以上) 使用しない場合、P24にしたがって給湯機の水抜きをしてください。
 - 停止期間中に、満タンわき増し、現在時刻を設定すると自動解除されます。
 - 「長期停止」とした場合、解除するまでわき上げません。

お湯チェック

お湯の使用可能時間や、当日、過去、週平均の使用湯量*を表示させることができます。

*お湯の使用量(エネルギー)を42℃で換算した給湯使用可能時間、使用湯量で表示します。



1 2 3

- ECOチェック** を3秒以上押す
 - 給湯使用可能時間が表示されます。
 - 使用可能時間 シャワー 約20分
- ECOチェック** を押す
 - 本日、週平均の使用湯量が表示されます。
 - 本日 550L
週平均 440L
- ECOチェック** を押す
 - 本日、前日、2日前～7日前の使用湯量が表示されます。
 - 本日 550L
前日 240L
2日前 470L
3日前 380L

■通常表示(時刻表示)へ戻すとき
ECOチェック以外のスイッチを押す
または上記手順3に続けてECOチェックスイッチを押す
(スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

ポイント

●給湯使用可能時間は目安です。湯はりや食器洗浄、シャワーを行うときは、下表を参考としてください。

主な給湯使用例	使用湯量の目安	表示
浴槽湯はり	180L	約15分以上
食器洗浄・洗面給湯	150L	約15分以上
シャワー給湯(1回分)	80L	約10分以上

■試算条件(当社想定)
タンク内温度:80℃、給水温度:5℃、湯はり温度:42℃、給湯温度:42℃、流量:12L/分
*使用湯量の目安は、浴槽の大きさ、お湯の使い方などによって変わります。

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

ECOチェック

お湯の使用状況に対してのわき上げ診断・CO₂削減量を表示します。



1 2

- ECOチェック** を押す
 - わき上げ診断の結果が表示されます。
 - 1. わき上げ診断
 - お湯を上手にご使用しています
 - 現在の設定のままご使用下さい
- わき上げ診断に続けて **ECOチェック** を押す
 - CO₂削減量が表示されます。
 - 2. CO₂削減量
 - 1週間のCO₂削減量 1.5kg

■通常表示(時刻表示)へ戻すとき
ECOチェック以外のスイッチを押す
または上記手順2に続けてECOチェックスイッチを押す
(スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

ポイント

- 使用湯量モード設定時は、診断できません。(P18)
- わき上げ診断は過去1週間のお湯の使用状況に基づき行なっています。設置後1週間が過ぎるまでは「学習中」と表示されます。
- CO₂削減量は過去1週間の積算値です。
- CO₂削減量は目安です。下表のとりの使用湯量モード(P18)で学習運転をさせなかったとき、「おまかせ」「多め」(わき上げモード)により過去の使用湯量を学習し最適なお湯の量をわかしたときを比べて消費電力削減量を推測し、消費電力削減量1kWあたりのCO₂削減量を0.4kg/kWhで換算することによって算出しています。

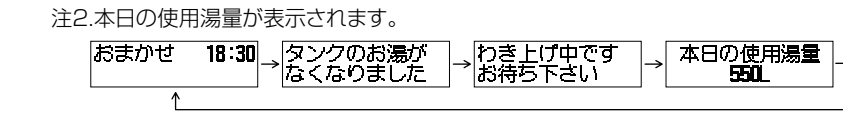
タンク容量	使用湯量モード
370L	750L
460L	850L
550L	1000L

残湯量表示

タンク内の残湯量(45℃以上のお湯の量)をリモコンに表示します。お湯が少なくなったときは、満タンわき増しを使用してください。

残湯量表示						
お湯の量	550L機種	400L以上 (ほぼ満タン)	300L以上 400L未満	150L以上 300L未満	注1	注2
	460L機種	330L以上 (ほぼ満タン)	250L以上 330L未満	150L以上 250L未満	0L以上 150L未満	残湯なし (湯切れ)
	370L機種	290L以上 (ほぼ満タン)	220L以上 290L未満	150L以上 220L未満		

※使用状況によっては湯量がたりなくなり、機能が満足できない場合があります。
注1. 50L未満になると残湯メモリが点滅し、残り使用可能時間が表示されます。



ポイント

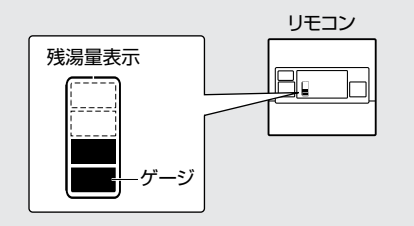
- 残湯量表示の「」は45℃以上のお湯を表しています。
- 自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。
- 設置直後など、1度もわき上げが完了していない場合は、お湯の増加とともに以下のように表示がかわります。

残湯量表示						
お湯の量	残湯なし	50L未満	50L以上 150L未満	150L以上 250L未満	250L以上 330L未満	330L以上 (ほぼ満タン)

※460L機種の場合

朝、リモコンの残湯量ゲージが満タンにならない場合について

- この給湯機は、過去のお湯の使用量を『学習』し、最適な湯量を自動でわかします。お湯の使用量が少ない場合に、より効率的なわき上げを行うため、満タンまでわき上げないことがあります。(わき上げモードを「多め」に設定いただいても満タンにならないことがあります。)



ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

スマート機能

1.タンク内温度

現在のタンク内のお湯の温度を表示させることができます。



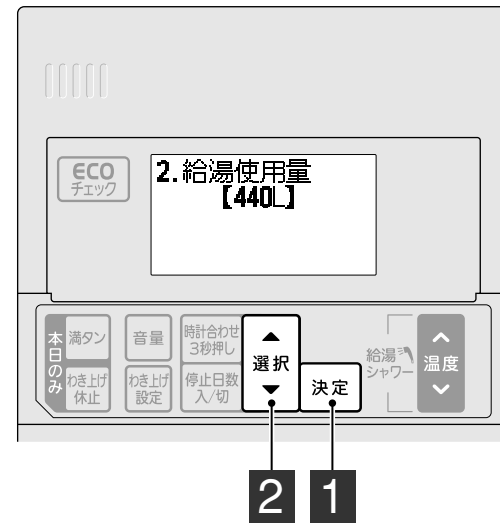
1 **決定** を3秒以上押す **1.タンク内温度 [85°C]**

- タンク内温度が表示されます。

■通常表示(時刻表示)へ戻るとき：決定スイッチを押す
(スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

2.給湯使用量

昨日の給湯使用量を表示させることができます。



1 **決定** を3秒以上押す **1.タンク内温度 [85°C]**

- タンク内温度が表示されます。

2 **選択** スイッチで「2.給湯使用量」を選ぶ **2.給湯使用量 [440L]**

- 給湯使用量が表示されます。
- ▲…1つ進む
- ▼…1つ戻る

■通常表示(時刻表示)へ戻るとき：決定スイッチを押す
(スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

ポイント

- お湯の使用量(エネルギー)を42°Cの給湯量で表示し、毎朝、夜間時間帯終了後に更新を行います。
- 表示されるお湯の使用量は、タンク内のお湯の使用量と異なります。例えば、昨日の給湯使用量表示が「240L」の場合、タンク内の熱いお湯と水を混ぜて240L使用したことを表しています。

3.湯切れ報知音

お湯が少なくなったとき、または、お湯がなくなったときに報知音・アナウンスを鳴らしてお知らせします。

●設定範囲

入:報知音あり/切:報知音なし
工場出荷時は入



1 **決定** を3秒以上押す **1.タンク内温度 [85°C]**

2 **選択** スイッチで「3.湯切れ報知音」を選ぶ **3.湯切れ報知音 [入]**
ご使用中の設定

- ▲…1つ進む
- ▼…1つ戻る

3 **給湯温度スイッチ**で入/切を決める **3.湯切れ報知音 [切]**
変更後の設定

- ▲…入になる
- ▼…切になる

■通常表示(時刻表示)へ戻るとき：決定スイッチを押す
(スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

ポイント

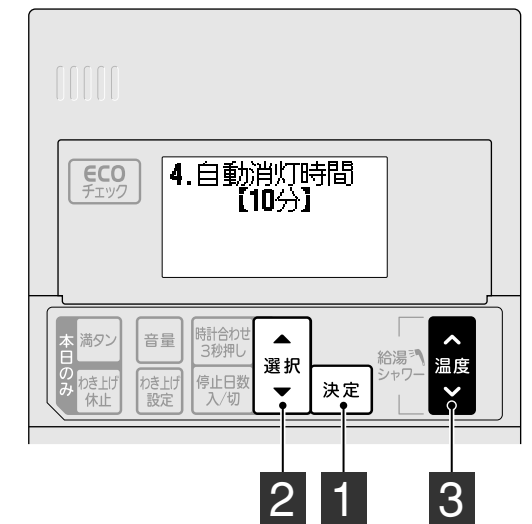
- 通常は「入」でご使用ください。

4.自動消灯時間

画面を待機表示(時計のみ表示)させるまでの時間を変更できます。給湯機を使用しないまま設定時間が経過すると、画面が待機表示に切り替わります。

●設定範囲

4段階(1分/5分/10分/30分)
工場出荷時は10分



1 **決定** を3秒以上押す **1.タンク内温度 [85°C]**

2 **選択** スイッチで「4.自動消灯時間」を選ぶ **4.自動消灯時間 [10分]**
ご使用中の設定

- ▲…1つ進む
- ▼…1つ戻る

3 **給湯温度スイッチ**で時間を決める **4.自動消灯時間 [5分]**
変更後の設定

- ▲…時間が増える
- ▼…時間が減る

■通常表示(時刻表示)へ戻るとき：決定スイッチを押す
(スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

ポイント

- 画面が消灯中でも以下の場合はバックライトが点灯し、画面が復帰します。

- ①スイッチ操作時(音声ガイダンス動作時を含む)
- ②シャワー・蛇口給湯時*

*②の場合、待機表示と連動させずにバックライトが点灯しないように設定できます。
5.バックライトモードを「モード2」に設定してください。

- 待機表示中でも給湯温度50°Cまたは60°C設定時は「高温注意 給湯50°C」または「高温注意 給湯60°C」がスクロールします。

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

スマート機能(つづき)

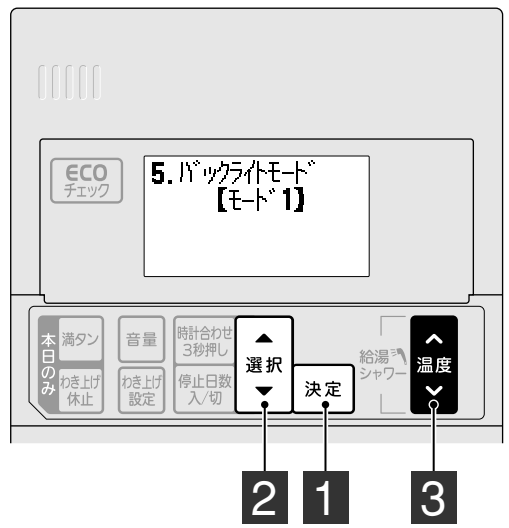
5.バックライトモード

バックライトの点灯/消灯の切り替え条件を3つのモードから選べます。

- 設定範囲
 - モード1/モード2/モード3(下表参照)
 - 工場出荷時はモード1

バックライト消灯・点灯条件

モード	消灯条件	点灯条件		
		スイッチ操作時	音声ガイダンス動作時	シャワー・蛇口給湯時
モード1	4.自動消灯	○	○	○
モード2	時間と連動	○	○	×
モード3	-	常時点灯		



- 決定** を3秒以上押す 1.タンク内温度【85℃】
- 選択スイッチで「5.バックライトモード」を選ぶ
 - ▲…1つ進む
 - ▼…1つ戻る
- 給湯温度スイッチでモードを決める
 - ▲…モードが1つ進む
 - ▼…モードが1つ戻る

■通常表示(時刻表示)へ戻すとき：決定スイッチを押す (スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

ポイント

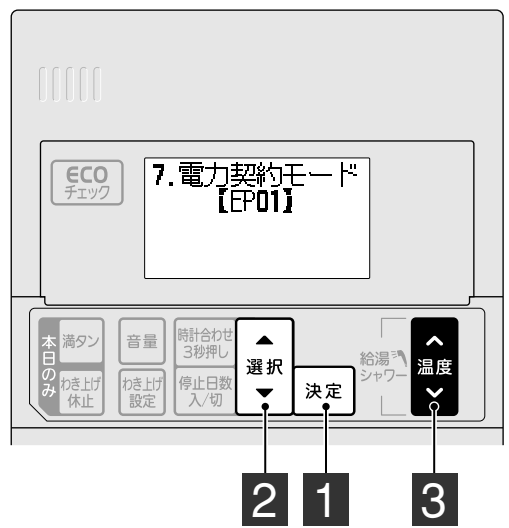
- お湯チェックを参考に設定してください。(P15)
- 使用湯量モードでご使用の場合、前日の残り湯や放熱により、設定湯量と同じ量のお湯を使用したときでも、タンクのお湯が余ったり、たりなくなる可能性があります。残湯量表示を確認してお湯をご使用ください。

7.電力契約モード

- 設定範囲
 - EP01~EP10(下表参照)
 - 工場出荷時はEP01

電力契約モードの内容(平成22年10月現在)

EP01	●東京電力:電化上手 ●関西電力:はぴeタイム、はぴeプラン ●沖縄電力:Eeらいふ
EP02	●中部電力:Eライフプラン
EP03	●中国電力:ファミリータイム
EP04	●北陸電力:エルフナイト10プラス ●九州電力:電化deナイト
EP05	●東北電力:やりくりナイト8 ●東京電力:おトクなナイト8 ●北陸電力:エルフナイト8 ●中部電力:タイムプラン ●関西電力:時間帯別電灯 ●四国電力:電化Deナイト、得トクナイト ●九州電力:時間帯別電灯[8時間型] ●沖縄電力:時間帯別電灯
EP06	●東北電力:やりくりナイト10、やりくりナイトS ●東京電力:おトクなナイト10 ●北陸電力:エルフナイト10 ●九州電力:よかナイト10
EP07	●中国電力:エコミーナイト
EP08	●北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(A:夜間時間帯22時~6時)
EP09	●北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(B:夜間時間帯23時~7時)
EP10	●北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(C:夜間時間帯24時~8時)、eタイム3



- 決定** を3秒以上押す 1.タンク内温度【85℃】
- 選択スイッチで「7.電力契約モード」を選ぶ
 - ▲…1つ進む
 - ▼…1つ戻る
- 給湯温度スイッチでモードを決める
 - ▲…1つ進む
 - ▼…1つ戻る

■通常表示(時刻表示)へ戻すとき：決定スイッチを押す (スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

6.使用湯量モード

お客さまが使用する分だけ設定し、わき上げることができます。

- 設定範囲
 - 入(200L~1200L※、50L刻み)/切
 - 工場出荷時は切
 - 注:設定湯量の上限はタンク容量によって異なります。タンク容量370L機種は上限800L、460L機種は1000L、550L機種は1200Lです。



- 決定** を3秒以上押す 1.タンク内温度【85℃】
 - 選択スイッチで「6.使用湯量モード」を選ぶ
 - ▲…1つ進む
 - ▼…1つ戻る
 - 給湯温度スイッチで入/切を決める
 - ▲…入になる
 - ▼…切になる
- 〈湯量を設定するときは〉
- 決定** を押す 6-1.使用湯量【750L】
 - 給湯温度スイッチで湯量を決める
 - ▲…50L増える
 - ▼…50L減る
 - わき上げモード表示位置に設定湯量が表示されます。

■通常表示(時刻表示)へ戻すとき：決定スイッチを押す (スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。)

ポイント

- お湯チェックを参考に設定してください。(P15)
- 使用湯量モードでご使用の場合、前日の残り湯や放熱により、設定湯量と同じ量のお湯を使用したときでも、タンクのお湯が余ったり、たりなくなる可能性があります。残湯量表示を確認してお湯をご使用ください。

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

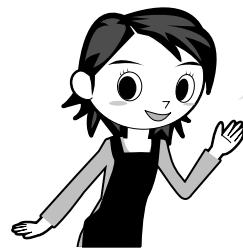
ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

お手入れと点検



●安全・快適にお使いいただくため、定期的に行なってください。

点検時に異常がある場合は、給水配管専用止水栓を閉じ、漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店（販売店）へご連絡ください。

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

逃し弁

水漏れ点検と動作点検を行います。わき上げをしていないときに行なってください。

頻度：年に2～3回程度

1 水漏れ点検

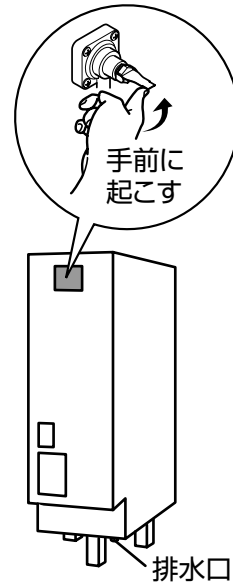
排水口から水（お湯）が出ていないことを確認する

水（お湯）が出ている場合は逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを数回動かしてください。

2 動作点検

逃し弁操作窓を開けて、逃し弁のレバーを手前に起こし、排水口から水（お湯）が出ることを確認する

3 逃し弁のレバーを戻す



警告 ●点検時は、配管に手を触れない（やけどの原因）

注意 ●逃し弁の点検をする（タンク、配管破損・水漏れの原因）

漏電遮断器

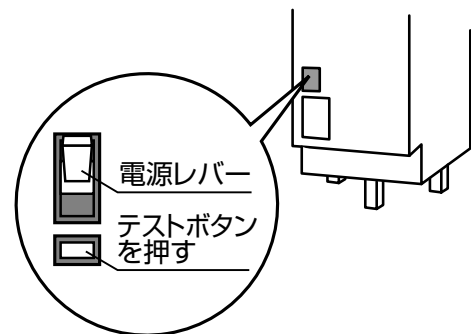
電源供給中に行なってください。

頻度：年に2～3回程度

1 操作窓を開け、テストボタンを押す

電源レバーが「入」→「切」になれば正常です。

2 必ず電源レバーを上げ、「入」に戻す



警告 ●漏電遮断器の動作を確認する（感電の原因）

配管の水漏れ 保温材破損

頻度：年に2～3回程度

配管の水漏れや保温材破損がないか点検します。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

ポイント

●保温材の点検は、冬期前には必ず行ってください。

注意 配管を点検するマンションなど、中・高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

リモコン

頻度：日常

表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。

ポイント

●ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使用しないでください。変形や変色の原因になります。

貯湯タンク

頻度：年に2～3回程度

タンクの下部にたまった汚れを排水します。わき上げをしていないときに行なってください。

1 給水配管専用止水栓を閉じる

2 逃し弁操作窓を開けて、逃し弁のレバーを手前に起こす

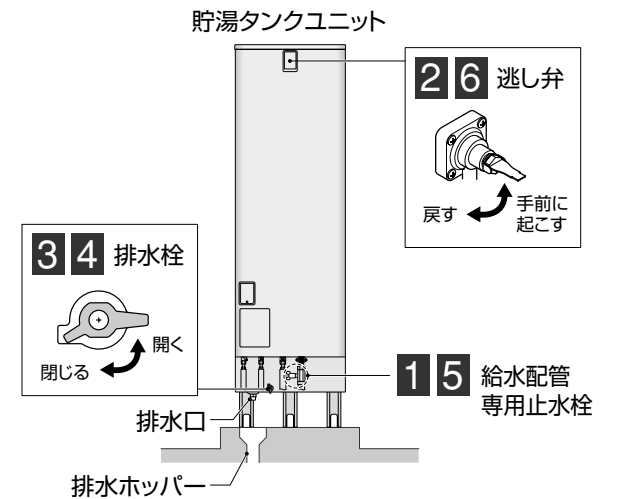
3 排水栓を約1～2分間開く

タンクの下部にたまった汚れを排水します。排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。

4 約1～2分間たったら、排水栓を閉じる

5 給水配管専用止水栓を開く

6 排水口から勢いよく水が出たら、逃し弁のレバーを戻す

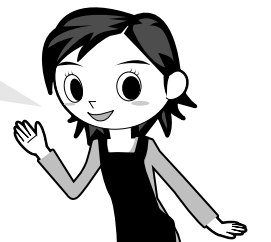


警告 排水時はお湯に手を触れない（やけどの原因）

定期点検 （有料）

●給湯機を少しでも長くお使いいただくため、3～4年に1度定期点検（有料）を行なってください。

定期点検については、据付工事店（販売店）または「修理窓口（P37）」へご相談ください。点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。



定期点検の主な内容

据付状態 設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認

機能部品 電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（減圧弁、逃し弁）、給水用具（逆流防止装置）*などの点検及び消耗部品の交換
※給水用具（逆流防止装置）に関しては、（社）日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に基づいて点検をします。

清掃 タンク内の清掃（沈殿物の除去など）、給湯機のスレーナーの掃除

消耗部品について

下記部品の交換時は、当社別売部品をご指定ください。

- 減圧弁
- 電磁弁
- パッキン類
- 逃し弁
- バイパス弁
- ポンプ
- 混合弁

ご使用の前に

使いかた

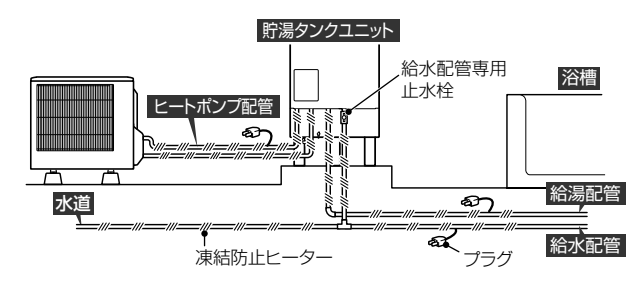
こんなとき

故障かな

凍結防止

寒い季節になったら、凍結防止処置が行われているか、必ず確認してください。各配管に保温工事がしてあっても、冬期は本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損したり、リモコンにエラーが表示されたりすることがあります。(寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。) 据付工事店(販売店)へ相談し適切な凍結防止対策をしてください。

注意 ●凍結防止処置の確認をする
凍結するとタンクや配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。



- 1 凍結防止ヒーターが図のように設置されているか確認する
- 2 使用するときは、すべてのプラグをコンセントに差し込む

ポイント

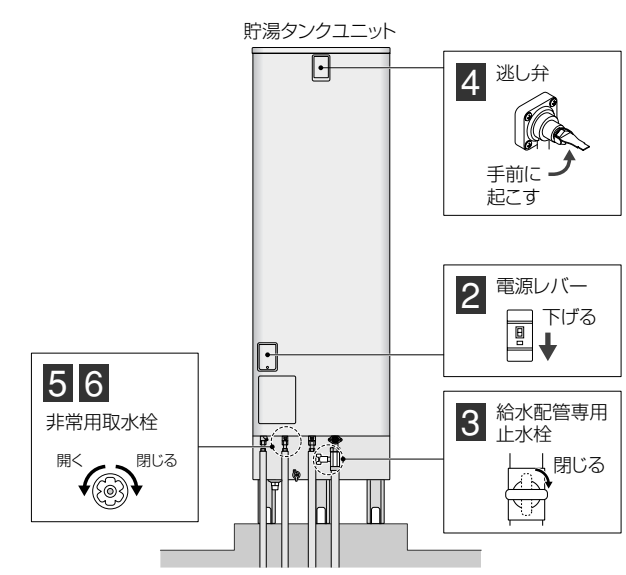
- 凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。
- 配管が凍結した場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。
- 貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの凍結防止のため、ヒートポンプユニットを動作させて凍結防止運転を行います。(わき上げ停止日数が設定されている場合でも、凍結防止のため動作することがあります。)

故障かな

非常時の取水方法

タンクの水(お湯)を生活用水として利用できます。

警告 ●取水時は、やけどに注意する
取水中、急に熱湯(最高90℃)が出る場合があります。



- 1 貯湯タンクユニットに脚部カバーがついている場合は脚部カバーの前面カバーを外す(外しかた: P.8)
- 2 貯湯タンクユニットの電源レバーを下げ、「切」にする
●電気の供給を停止します。
- 3 給水配管専用止水栓を閉じる
●貯湯タンクユニットへの給水を止めます。
- 4 貯湯タンクユニットの逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす
●タンクへ空気を取り入れます。
- 5 非常用取水栓を開く(1回転~1回転半まわす)
●タンクの水(お湯)を取り出します。バケツなどで受けます。

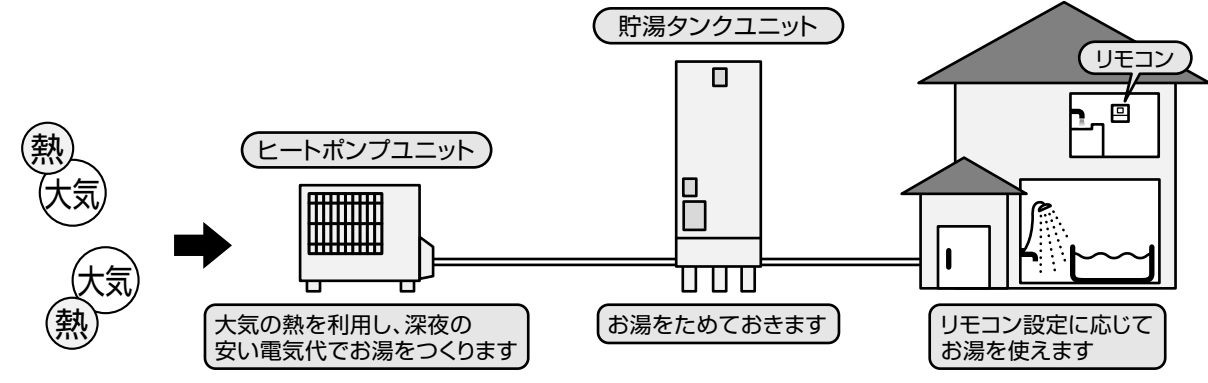
- 〈取水が終わったら〉
- 6 非常用取水栓を閉じ、手順1で外した脚部カバーを取り付ける

ポイント

- 再び使用するときには、逃し弁のレバーを戻し、非常用取水栓が閉じていることを確認してから、「使いはじめ(準備) P.25」を行ってください。

機器の役割など

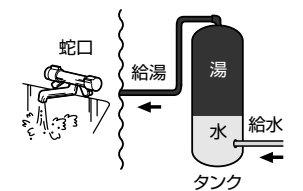
□機器の役割



□給湯機の基本原理

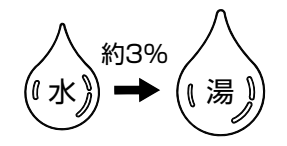
①自動給水・押し上げ方式です

蛇口をひねると、タンク内のお湯は給水水圧によって押し上げられ、タンク上部の給湯口より給湯配管を通して自動的に採湯することができます。使用したお湯の分だけの水が、給水口より水道水圧を利用して自動的にタンクに供給されますので、タンク内は常にお湯(水)で満たされています。



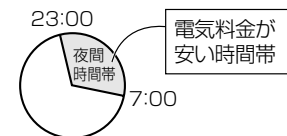
②水は体積膨張します

水がお湯になると必ず体積膨張を起こし、約3%増加します。例えば、370Lの温水器では、約11L分増えます。この増えた分を逃がす目的で逃し弁が取付けられます。わき上げ中に逃し弁からお湯が少しずつ排水されるのは、故障ではありません。正常な動作です。



③主に夜間に運転を行い、わき上げます

割安な深夜電力を利用して、タンク内のお湯をわき上げます。(お湯が不足しないように、昼間時間帯でもわき上げを行います。)



④わき上げ中はヒートポンプユニットから運転音がします

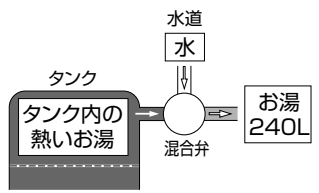
運転中は運転音がします。また、ドレン口から少量の水が出る場合があります。

⑤タンク貯湯式です

わき上げたお湯をタンクに貯湯し、水を混合させて設定温度での給湯を行います。そのため、タンク内のお湯を使いすぎると湯切れすることがあります。

⑥換算湯量とは

給湯使用量などで表示されるお湯の使用量は42℃換算湯量ですので、タンク内のお湯の使用量と異なります。例えば、昨日の給湯使用量表示が「240L」の場合、タンク内の熱いお湯と水を混ぜて42℃のお湯を240L使用したことを表しています。



簡略計算式

$$42\text{℃換算湯量 [L]} = \text{タンク内使用湯量 [L]} \times \frac{\text{タンク内温度 [℃]} - \text{給水温度 [℃]}}{42\text{ [℃]} - \text{給水温度 [℃]}}$$

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

使いはじめ(準備)

タンクの水抜きを行なった場合、下記の手順で給湯機の使用を再開します。またタンクの水抜きをせずに1カ月以上お湯を使用しなかった場合は、給湯機の水抜き(24)をしてから次の手順を行なってください。

※給湯機を初めてご使用になる場合など、方法がわからないときは、据付工事店(販売店)へご相談ください。

- 以下のことを確認する**
 - 貯湯タンクユニットの電源レバー: 「切」
 - 給湯機の水抜き栓、排水栓、ストレーナー: 「閉」
 - すべての蛇口(湯水混合栓): 「閉」
- 貯湯タンクユニットの設定準備をする**
 - 200V電源ブレーカーを「入」にする
 - 電源レバーを「入」にし、約30秒間「入」にした後、「切」にする
 - 200V電源ブレーカーを「切」にする
- 機器を満水にする**
 - 逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす
 - 給水配管専用止水栓を開き、貯湯タンクユニットへ給水する
 - 機器が満水になると、貯湯タンクユニットの排水口から水が出ます(満水までの目安: 約30分)
 - 満水確認後、逃し弁のレバーを戻す
 - 満水にしてから電源を入れてください。また、満水になるまで蛇口(湯水混合栓)は開けないでください。故障の原因となります。
 - 給水中は排水口から少量の水が出ますが故障ではありません。
- 電源を入れる**
 - 200V電源ブレーカーを「入」にする
 - 電源レバーを上げ、「入」にする
 - 電源を入れると、昼間でもわき上げを開始します。
- 機器のエア抜き運転を行う**
 - リモコンの選択スイッチ「▲」「▼」を同時に3秒以上押す
 - エア抜き運転中はリモコンに「エア抜き」が表示されます。
 - 10分後に自動で停止します。
 - エア抜き運転を途中で終了させる場合は、手順順(「▲」「▼」同時3秒押し)を行なってください。
 - 初期のみ、電源を入れる(4項)と、自動でエア抜きを行います。
 - エア抜き終了後、タンク上部のエアを抜くため、逃し弁のレバーを約1分前手前に起こす(1分後、レバーを戻す)
- リモコンの時刻を確認する**
 - その他の設定(給湯温度など)も工場出荷時状態に戻っていることがありますので、確認してください。
 - 初めてご使用の場合は電力モードを確認し、合っていない場合は、ご契約の電力制度に合わせてください。(29)
- お湯を使う**
 - 約8時間で満タンまでわき上がります。
 - やけど防止のため、湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き、適温に調整してお湯を使用します。

警告 ●使いはじめは、やけどに注意する
特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

長期間使用しない

長期間(1カ月以上)使用しないときは、運転を止め給湯機の水を抜きます。また、凍結による不具合防止のため、給湯機の通電を行なわないときは、下記要領で水抜きを行なってください。

警告	●排水時は、やけどに注意する
注意	●長期間(1カ月以上)使用しないときは、タンクの水を抜く ●タンクの熱湯を直接排水しない

- 準備**
 - 前日からタンクのお湯を抜くことがわかっている場合は、前日にわき上げ停止日数を「2日」に設定し、わき上げを停止しておく(22)
 - ヒートポンプユニットの配管カバーを外す(27)
 - 貯湯タンクユニットに脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーも外す(28)
- タンク内のお湯を水にする**
 - 湯水混合栓(例えば台所など)を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出します。熱いお湯が出なくなったら閉じてください。
- 機器のエア抜き運転を行う**
 - リモコンの選択スイッチ「▲」「▼」を同時に3秒以上押す
 - エア抜き運転中はリモコンに「エア抜き」が表示されます。
- 電源を切る**
 - 貯湯タンクユニットの電源レバーを「切」にする
- 貯湯タンクユニット内の水を排水する**
 - 給水配管専用止水栓(4)を閉じる
 - 逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす
 - 排水栓(3)を開く
 - タンクの水(お湯)が抜けるまでに約1時間かかります。
 - 排水ホッパーから排水があふれないように調整してください。
 - 排水直後に逃し弁のレバーを戻さないでください。
- 排水後、機器(配管)の水抜きをする**
 - ヒートポンプユニットの水抜き栓(1)(2)を開く
 - 貯湯タンクユニットの水抜き栓(1)(2)を開く
 - 貯湯タンクユニット給水配管のストレーナー(5)を外し、逆止弁の解除ボタンを押す
 - 容器などで受けて排水します。
 - 水(お湯)が飛び散る場合がありますので、ご注意ください。
 - 確実に抜かないとエラーが表示される場合があります。
- 水抜き完了後の処置**
 - 水抜き完了後、1時間程度放置してから水抜き栓、排水栓、逃し弁を閉じ、ストレーナーを取り付ける
 - 手順1(2)(3)で外した配管カバー、脚部カバーを取り付ける

ポイント ●再び使用するときは、排水栓、水抜き栓が閉じていることを確認してから、「使いはじめ(準備)25」を行なってください。

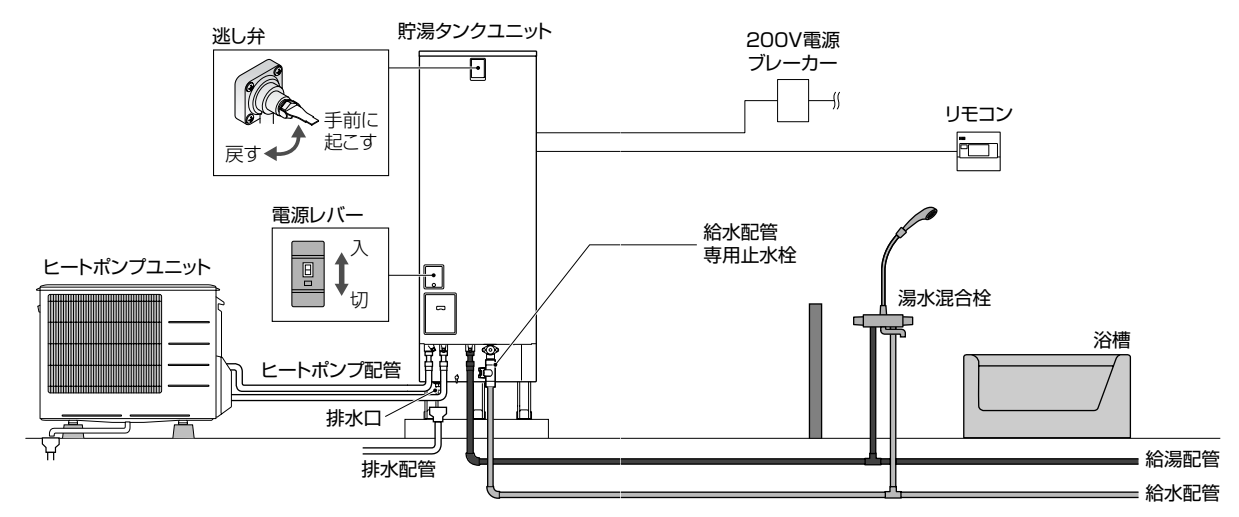
ご使用の前に

使いかた

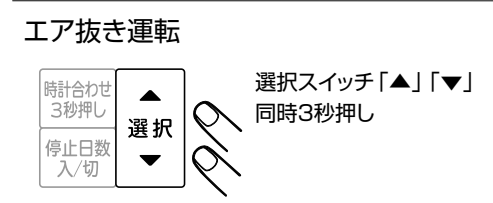
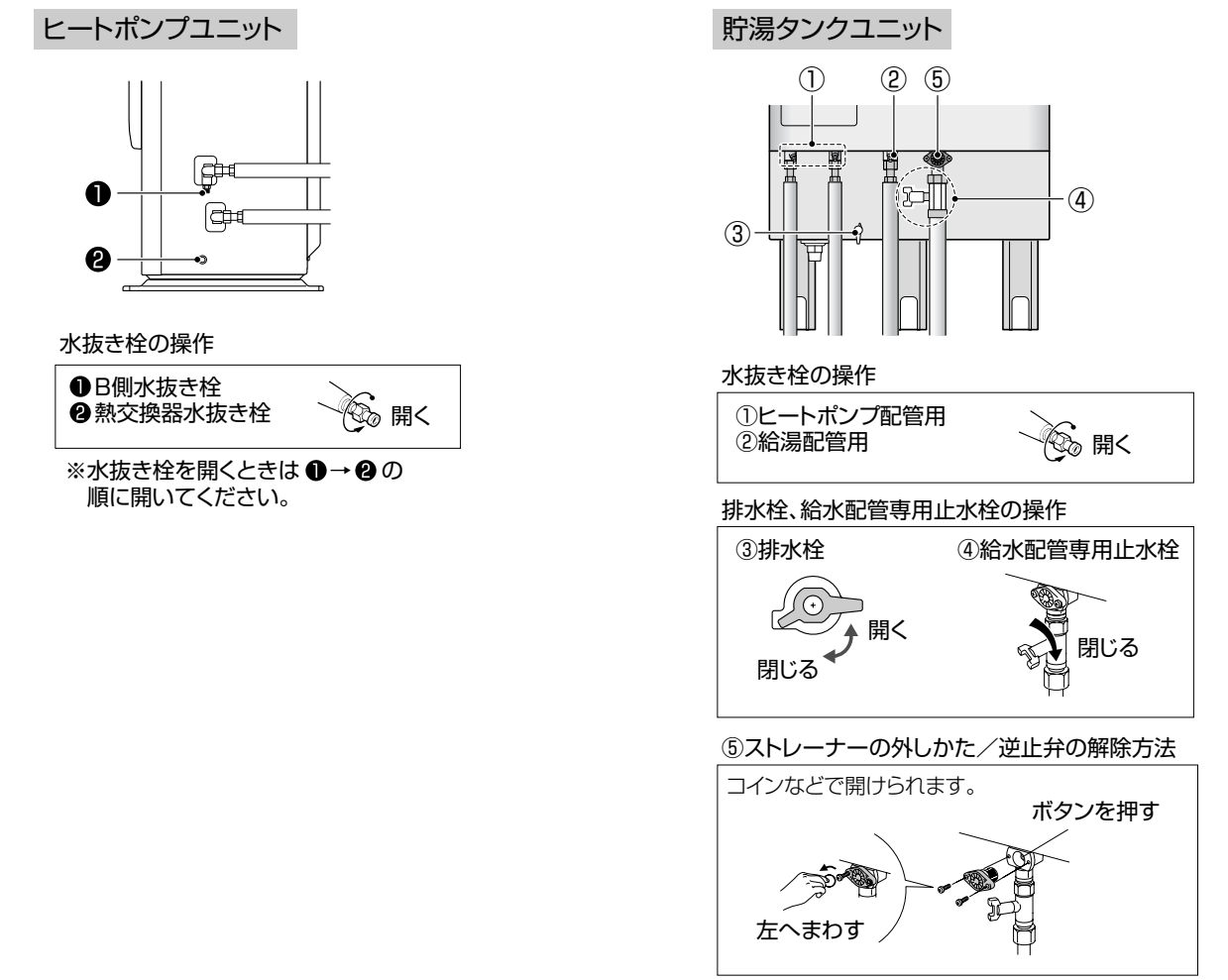
こんなとき

故障かな

逃し弁、電源レバー取付位置



水抜き栓、排水栓、ストレーナー、給水配管専用止水栓の取付位置



ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

仕様

- 耐塩害仕様タイプはシステム形名の末尾に「-BS」が付きまます。

タイプ	一般地向け 高圧力型			寒冷地向け 高圧力型	
	形名	SRT-HP46N5	SRT-HP37N5	SRT-HPK46ND5	SRT-HPK37ND5
適用電力制度	季節別時間帯別電灯・時間帯別電灯(通電制御型)				
定格電圧(周波数)	単相200V(50/60Hz共用)				
最大電流	19A	17A	16A	19A	19A
わき上げ温度	約65℃～約90℃				
給水器具認証番号	W009-20020-057				
年間給湯効率(APF)注1※7	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3
形名	SRT-HPU72A5	SRT-HPU60A5	SRT-HPU45A5	SRT-HPUK60A5	SRT-HPUK45A5
設置場所	屋外専用				
外形寸法 高さ	715mm	715mm	638mm	715mm	715mm
幅(配管カバー寸法)	809(+70)mm	809(+70)mm	800(+70)mm	809(+70)mm	809(+70)mm
奥行(センサーカバー寸法)	300(+16)mm	300(+16)mm	285(+16)mm	300(+16)mm	300(+16)mm
質量	57kg	52kg	48kg	58kg	58kg
中間期加熱能力/消費電力※2※3	7.2kW/1.69kW	6.0kW/1.34kW	4.5kW/1.01kW	6.0kW/1.34kW	4.5kW/0.98kW
夏期加熱能力/消費電力※2※4	4.5kW/0.85kW	4.5kW/0.85kW	4.5kW/0.87kW	4.5kW/0.85kW	4.5kW/0.85kW
冬期高温加熱能力/消費電力※1※2※5	7.2kW/2.50kW	6.0kW/2.00kW	4.5kW/1.50kW	6.0kW/2.00kW	4.5kW/1.50kW
冷媒名/冷媒量	CO ₂ (R744)/1.20kg	CO ₂ (R744)/0.84kg	CO ₂ (R744)/0.81kg	CO ₂ (R744)/1.20kg	CO ₂ (R744)/1.20kg
運転音(中間期※3/冬期※5)※6	44dB/47dB	42dB/45dB	38dB/43dB	42dB/45dB	38dB/43dB
中間期エネルギー消費効率(COP)注2	4.3	4.5	4.5	4.5	4.6
形名	SRT-HPT55N5	SRT-HPT46N5	SRT-HPT37N5	SRT-HPTK46ND5	SRT-HPTK37ND5
タンク容量	550L	460L	370L	460L	370L
設置場所	屋外				
外形寸法 高さ	2100mm	2170mm	1830mm	2170mm	1830mm
幅	700mm	630mm	630mm	630mm	630mm
奥行	825mm	760mm	760mm	760mm	760mm
質量(満水時)	78kg(628kg)	70kg(530kg)	61kg(431kg)	71kg(531kg)	62kg(432kg)
通常使用圧力/最高使用圧力	170kPa(減圧弁圧力)/193kPa(逃し弁圧力)				
制御用消費電力	3W	3W	3W	3W	3W
凍結防止ヒーター消費電力	36W	36W	36W	60W	60W

注1.年間給湯効率は(社)日本冷凍空調工業会の規格であるJRA4050:2007Rに基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、1年を通して、ある一定の条件※のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力あたりの給湯熱量を表したものです。なお、掲載値は、省エネモードである「おまかせ」で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定やご使用条件等により変わります。

※一定の条件とは、東京・大阪を平均とした気象条件・給水温度で42℃のお湯を1日に約425L使用する条件等を想定したものです。

年間給湯効率=1年で使用する給湯に係る熱量÷1年間で必要な消費電力量

APFは(Annual Performance Factor of hot water supply)の略

注2.中間期の消費電力1kWあたりの加熱能力を表したものです。
中間期エネルギー消費効率=中間期加熱能力÷中間期消費電力

COPは成績係数(Coefficient of performance)の略

※1 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。

※2 わき上げ終了直前では、加熱能力が低下することがあります。

※3 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)16℃/12℃、水温17℃、わき上げ温度65℃

※4 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)25℃/21℃、水温24℃、わき上げ温度65℃

※5 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)7℃/6℃、水温9℃、わき上げ温度90℃

※6 運転音はJRA4050規格に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。


※7 算出条件(出湯温度):夏期65℃、中間期65℃、冬期標準65℃、冬期高温90℃、着霜期高温90℃、冬期標準給湯モード65℃、着霜期標準給湯モード70℃

故障かな?と思ったら

以下にしたがって処置をしても異常がある場合は、お買い上げの販売店または当社修理窓口へご相談ください。

直らないきは、
お買い上げの販売店または
修理窓口(P37)へ。



	お湯関係 蛇口や浴槽のお湯・水に関する内容です。
---	------------------------------------


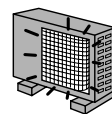
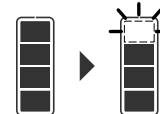
症状	処置・確認事項
お湯がたりない	<ul style="list-style-type: none"> ●お湯をたくさん使用した場合は、満タンわき増し(P13)をご利用ください。 ●わき上げ休止(P12)を設定している場合は、わき上げ休止を解除してください。 ●わき上げをしていないときに排水口から水(お湯)が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。(P20)
蛇口のお湯の温度が低い、水が出る	<ul style="list-style-type: none"> ●配管の放熱によって、温度が低くなる場合があります。 ●湯切れしている場合、お湯は出ません。お湯がわくまでしばらくお待ちください。 ●タンク内の温度が低いときは、給湯温度より低い温度のお湯が出ることがあります。 ●混合水栓で水と混合されている場合は、給湯温度よりも低くなります。 ●蛇口の開き方が少ないと、残湯があってもお湯が出ない場合があります。
お湯から油が出る、臭い	<ul style="list-style-type: none"> ●配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。気になる場合はタンク内の湯を入れかえてください。(P24)
残り湯が臭う	<ul style="list-style-type: none"> ●残り湯をご使用になる場合、浴槽のお湯が臭うことがあります。衛生面上、毎回お湯を入れかえることをおすすめします。
浴槽に青い線がつく	<ul style="list-style-type: none"> ●湯あかと銅配管等から溶出した銅イオンが反応して不溶性の青い銅石けんが付着したもので身体に害はありません。台所用の油汚れ専用洗剤をスポンジにつけてこすれば除去できます。こまめな清掃により湯あかがつかないようにすれば防止できます。
水が青く見える	<ul style="list-style-type: none"> ●光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。
お湯・水が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●給水配管専用止水栓が閉じている場合は、開いてください。 ●断水時は、断水が終わるまで待ってください。 ●配管凍結している場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。 ●給水配管のストレーナーにゴミが詰まっている場合は、ゴミを取り除いてください。(P8)
お湯がわからない	<ul style="list-style-type: none"> ●200V電源ブレーカーまたは電源レバーが「切」になっている場合は、「入」にしてください。 ●わき上げ休止(P12)を設定している場合は、わき上げ休止を解除してください。 ●わき上げ停止日数(P12)を設定している場合は、わき上げ停止日数を解除してください。 ●満タンわき増しをご利用ください。(P13)
お湯が白く濁って見える	<ul style="list-style-type: none"> ●水中に溶け込んでいた空気が細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。

給湯機

貯湯タンクユニット、ヒートポンプユニットに関する内容です。

症状		処置・確認事項
貯湯タンクユニット	排水口からお湯(水)が出ている	<ul style="list-style-type: none"> • わき上げ中は体積が増えた分のお湯が少しずつ排水されます。正常動作です。 • わき上げ中以外にお湯が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。(P20)
ヒートポンプユニット	昼間に動く	<ul style="list-style-type: none"> • お湯が不足しないように、昼間時間帯でもわき上げを行います。 • 冬期はヒートポンプ配管の凍結防止のため、ヒートポンプユニットが動くことがあります。
	水が出ている	<ul style="list-style-type: none"> • 運転中はドレン口から少量の水が出る場合があります。 • 温度、湿度によって、機器の底面に結露することがあります。
	わき上げ休止、わき上げ停止日数設定中も動く	<ul style="list-style-type: none"> • 外気温度が低下すると、凍結防止のための運転を行うことがあります。 • 電力契約モード(P19)がお客さまの電力契約と合っていない場合は、設定し直してください。
	運転音がうるさい	<ul style="list-style-type: none"> • わき上げ中は運転音が出ます。冬期等の外気温度が低い環境では、運転音は大きくなる場合があります。 • 外気温度が下がり、湿度が高いときは、自動霜取装置がはたらきますので、運転音が悪化する場合があります。 • フィンに付着した霜がファンにあたり、音が出る場合があります。
	運転/停止を繰り返す	<ul style="list-style-type: none"> • 外気温度が低いときは、ヒートポンプユニットの熱交換器の除霜のためファンの運転/停止を繰り返します。
	夜間時間帯になってもすぐにわき上げしない	<ul style="list-style-type: none"> • 給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐにわき上げを行いません。夜間時間帯が終了する時刻にお湯がわき上がるよう調整しています。

冬期に多い現象

<ul style="list-style-type: none"> • ヒートポンプユニットの運転音は大きくなる場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> • ヒートポンプユニットのフィンに霜がつき、白くなる場合があります。また、付着した霜がファンにあたり、音が出る場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> • 配管からの放熱により、お湯を使っていないのに残湯量が減ったり、タンク内の温度が上がらないことがあります。 
--	---	--

操作

リモコンの操作に関する内容です。

症状		処置・確認事項
満タンわき増し	スイッチを押してもわき上げをしない	<ul style="list-style-type: none"> • タンク内が既にわき上がっている場合は、わき上げを行いません。 • 満タンわき増しを設定するとお湯を約100L使用したとき自動的にわき上げを開始します。

症状		処置・確認事項
音声ガイダンス	聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> • 音声ガイダンスの設定を「消音」以外の設定にしてください。(P11)
タンク内温度表示	タンク内の温度が低い	<ul style="list-style-type: none"> • 以下のことを行うとタンク内の温度が上がらない場合があります。 <ol style="list-style-type: none"> ① わき上げ中にお湯を使用した場合 ② わき上げモードの設定をかえた場合(「おまかせ」→「多め」) ③ 給水水温が低く、残湯量が少ない場合 ④ 配管からの放熱や外気温度が低い場合 ⑤ 使用量が少ない場合 • 学習によってタンク内の温度は変わるため、わき上げを行なっていけば正常です。
お湯チェック	日々の使用湯量に変化しないのに残湯量が減る	<ul style="list-style-type: none"> • タンク残湯量はタンク内のお湯の温度や水温によって変わるため、使用湯量が同じでも残湯量表示の減り方は変わります。

リモコン

リモコンの画面(表示部)やブザー(報知音)に関する内容です。

症状		処置・確認事項	
リモコン	昼間に「わき上げ中」が点灯する(昼間にわき上げる)	<ul style="list-style-type: none"> • お湯が不足しないように、昼間時間帯でもわき上げを行います。 • 凍結防止のためのわき上げを行なっています。 	
	表示が消えている、時々点灯する	<ul style="list-style-type: none"> • 給湯機を一定時間使用しない場合には画面が待機表示に切り替わります。(自動消灯時間:P17) • バックライトモードがモード1に設定されているときは、お湯を使用したときにバックライトが点灯します。(バックライトモード:P18) 	
	お湯を使っていないのに残湯量が減る	<ul style="list-style-type: none"> • 自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても残湯量が減ることがあります。 	
	点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> • 漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている場合は「入」にしてください。再度「切」になる場合は、そのまま据付工事店(販売店)へご連絡ください。 	
	時刻が「00:00」で点滅する	<ul style="list-style-type: none"> • 時刻を設定してください。(P10) 	
	突然、リモコンのブザーが鳴る	<ul style="list-style-type: none"> • 給湯温度を60℃に変更したときは、音声ガイダンスやブザーが鳴ります。 • お湯の量が少なくなったとき、またはなくなったときに報知音が鳴ります。 	
	表示が残像する	<ul style="list-style-type: none"> • 低温環境化では、液晶の動作が鈍り、表示に残像が残る場合があります。 	
	消灯中に文字が流れている(スクロールする)	<ul style="list-style-type: none"> • 待機表示中の給湯温度50℃または60℃設定時には「高温注意 給湯50℃」または「高温注意 給湯60℃」がスクロールします。 	
	残湯量表示	朝(夜間時間帯終了時)、「満タン」表示にならない	<ul style="list-style-type: none"> • お湯の使用量が少ないときは、不要なわき上げを防ぐため、タンク全量をわき上げない場合があります。

リモコンにエラーが表示されたら

リモコンにエラーが表示された場合は、下記にしたがって処置をしてください。
処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店または「修理窓口 (P31)」へご相談ください。

表示	原因・処置
U00	<ul style="list-style-type: none"> 給湯機の給水口にお湯が供給されています。給湯機の給水口に水を供給してください。ソーラー温水器や給湯機が接続されている時は据付工事店(販売店)または「修理窓口」へご連絡ください。(P31) 給水配管専用止水栓が閉じているときに湯側の蛇口を開きました。給水配管専用止水栓を開いてから、湯側の蛇口を開いてください。(P8) 断水時や配管が凍結しているときに湯側の蛇口を開きました。断水時は断水が終わるまで待ち、湯側の蛇口を開いてください。凍結しているときは、給水配管専用止水栓を閉じて、据付工事店(販売店)へご連絡ください。
H03	<ul style="list-style-type: none"> 給湯機とリモコンが正しい組み合わせではありません。据付工事店(販売店)へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。
H10	<ul style="list-style-type: none"> 貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットが正しい組み合わせではありません。据付工事店へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。(わき上げも行いません。) 正しい組み合わせでも「H10」が表示される場合は、据付工事店(販売店)または「修理窓口」へご連絡ください。(P31)
H11	<ul style="list-style-type: none"> 貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットが正しい組み合わせではありません。据付工事店へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。(わき上げは行います。)
その他の表示 (E05) など	<ul style="list-style-type: none"> 給湯機の点検が必要です。200V電源ブレーカーと本体の漏電遮断器の電源レバーを「切」にし、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店(販売店)または「修理窓口」へご連絡ください。(P31)

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

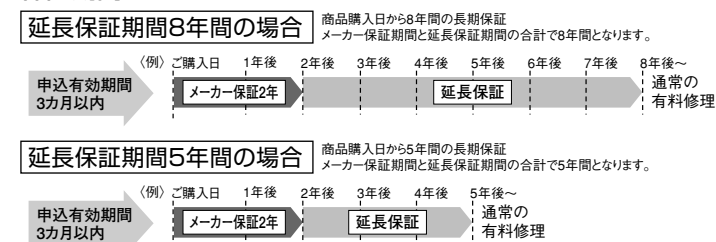
故障かな

故障かな

延長保証制度

給湯機の保証期間は保証とアフターサービス(P31)に記載の通りですが、保証期間を延長できる「延長保証制度」をご用意させていただいております。延長保証期間が8年間と5年間の2タイプをご用意しています。

〈保証期間〉



- 製品ご購入時あるいはご購入日から3カ月以内にお申し込みください。
- 延長保証はメーカー保証終了後からのスタートとなります。延長保証は、メーカー保証を含め、ご購入日(使用開始日)から8年間または5年間の長期保証となります。また延長保証終了後は通常の有料修理に移行いたします。
- 保証金額は本体のご購入価格が限度となります。
- 当制度の詳細は三菱電機延長保証申込受付センターまでお問い合わせください。

〈保証内容〉

延長保証期間中に対象商品に故障が発生した場合に、修理費を保証します。

保証する修理費用 = 技術料 + 部品代 + 出張料

〈延長保証対象商品と保証料〉 2011年1月現在 (保証料は変更する場合があります)

ヒートポンプ式電気給湯機 三菱エコキュート	
8年間保証料 24,400円(税抜価格 23,238円)	5年間保証料 11,340円(税抜価格 10,800円)

〈資料のご請求は〉

三菱電機延長保証申込受付センター
☎ 0120-867-789
受付時間:平日午前9:00~午後5:30(年末年始を除く)

保証とアフターサービス

■保証書(添付)

- 保証書は、必ず「お買い上げ日、据付工事店名(販売店名)」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。(取扱説明書、据付工事説明書なども保証書と一緒に保管してください。)
- 据付工事説明書(別添付)で指定されていない別売品を用いて使用した場合、故障が生じたときには責任を負いかねます。

保証期間

2年間	本体(逃し弁、減圧弁)、パッキン、リモコン、リモコンケーブル
3年間	熱交換器、コンプレッサー
5年間	タンク不良による水漏れ

※保証期間を延長できる「延長保証制度 P30」があります。

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品の製造打切り後10年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買い上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」(下記一覧表)へご相談ください。

■修理を依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(P27)にしたがってお調べください。なお不具合がある場合は、電源を「切」にしてから、据付工事店(販売店)にご連絡ください。
- 保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって据付工事店(販売店)が修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 修理料金は
技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。
- ご連絡いただきたい内容

●品名:自然冷媒CO ₂ ヒートポンプ給湯機
●形名: (例) エアールテ- イチビ-テ- エア-テ- SRT-HPT46ND5
●お買い上げ日:年月日
●故障の状況:できるだけ具体的に
●お名前・ご住所(付近の目印なども)・電話番号・訪問希望日

※形名は貯湯タンクユニットの前面カバーに表示(P8)

- 施工上の不具合による故障及び損傷が生じた場合や据付(接続・調整等)、取扱説明を依頼された場合は保証期間内であっても無償保証の対象外となります。

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

故障かな

故障かな

ご相談窓口・修理窓口のご案内(家電品)

取扱い・修理のご相談は、まずお買い上げの販売店へ

- お買い上げの販売店にご依頼できない場合(転居や贈答品など)は、**各窓口**へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

- 三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
- 1.お問合せ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
 - 2.上記利用目的のために、お問合せ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
 - 3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - ②法令等の定める規定に基づく場合。
 - 4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター

いつもサンキュー 365日
フリーコール **0120-139-365** (無料)

携帯電話・PHS・IP電話の場合

三菱電機お客さま相談センター
〒154-0001
東京都世田谷区池尻3-10-3
FAX (03) 3413-4049 (有料)

(03) 3414-9655 (有料)

■ご相談対応 平日 9:00~19:00
土・日・祝・弊社休日 9:00~17:00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

修理窓口 家電品の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル
☎ **0120-56-8634** (無料)
インターネット
www.melco.jp

携帯電話・PHS・IP電話の場合

北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター FAX (03) 3424-1115 (有料)	(03) 3424-1111 (有料)
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター FAX (06) 6454-3900 (有料)	(06) 6454-3901 (有料)

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

K10A

困ったときは

27 故障かな?と
思ったら

13 お湯が少なくな
ったとき

22 災害時にタンクの
水を使いたいとき

31 アフターサービス

必ずお読みください

20 お手入れ

4 安全のために必ず
お守りください

6 ご使用の前に

よくあるご質問

① 浴槽の水が青い
光の波長や浴槽の色、銅石けんによって青く見えることがあります。

② 朝(夜間時間帯終了時)、満タンにならない
お湯の使用量が少ないときは、ムダを防ぐため、満タンまでわき上げないことがあります。
残湯量表示

③ 設定した温度よりも湯温が低い
配管から放熱し、温度が低くなる場合があります。

④ 昼間に動く
お湯が不足しないように、昼間時間帯でもわき上げを行います。
わき上げ中

⑤ 貯湯タンクユニットの排水口からお湯が出る
わき上げ中は、お湯が少しずつ排水されます。

⑥ ヒートポンプユニットから水が出ている
運転中はドレン口から少量の水が出る場合があります。

⑦ リモコンの画面が点灯・消灯する
● 給湯機を一定時間使用しない場合には画面が待機表示に切り替わります。(自動消灯時間 P17)
● バックライトモードがモード1に設定されているときはお湯を使用したときに点灯します。(バックライトモード P18)

製品形名(製造番号)	SRT- < >	据付工事店(販売店)の店名・住所・電話番号
リモコン形名	RMC-N5	
お買上げ日	年 月 日	

点検・修理時の覚え書きとしてご使用ください。

愛情点検

★長年ご使用の給湯機の点検を! ●この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後10年です。

<p>こんな症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水が漏れている ●時々漏電遮断器がはたらく。 ●その他の異常や故障がある。 	▶	<p>ご使用中止</p> <p>故障や事故防止のため、電源ブレーカー及び本体の漏電遮断器を切り、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店に点検・修理(有料)をご相談ください。</p>
--	---	---

三菱電機株式会社

群馬製作所 〒370-0492 群馬県太田市岩松町800